

環 境 農 林 部

環 境 政 策 課

生 活 環 境 課

農 林 課

1 環境施策推進事業

あきる野市環境基本計画に基づく環境施策の推進や市民及び市内事業所への環境対策の普及啓発事業を実施した。また、本計画の計画期間が終了することから、第三次あきる野市環境基本計画を策定した。

(1) あきる野市環境審議会

第三次あきる野市環境基本計画の策定について審議した。

開催日	内 容
令和8年 1月19日	第三次あきる野市環境基本計画（案）について（諮問）
2月16日	第三次あきる野市環境基本計画（案）について（答申）

(2) あきる野市都市環境審議会

都市環境に重大な影響を及ぼすと考えられる案件を審議する。令和7年度は、諮問案件がなかったため、開催しなかった。

(3) 第三次あきる野市環境基本計画の検討

ア 本計画を策定するに当たり、市民及び事業者の意見を反映するため、あきる野市環境基本計画市民検討委員会を組織し、検討を行った。

開催日	内 容
令和7年 5月 2日	市民検討委員会 1 環境像・分野別方針について 2 重点プロジェクトの考え方と候補案について
6月27日	市民検討委員会 1 望ましい環境像 2 重点プロジェクト（案）について 3 施策、アクションプラン（案）について
8月 5日	あきる野市環境基本計画策定委員会及び地球温暖化対策推進本部幹事会 1 第三次あきる野市環境基本計画（素案）について
8月 7日	あきる野市環境基本計画策定本部会及び地球温暖化対策推進本部会 1 第三次あきる野市環境基本計画（素案）について
8月26日	市民検討委員会 1 第三次あきる野市環境基本計画（素案）について 2 アクションプラン（案）について
10月 3日	市民検討委員会 1 第三次あきる野市環境基本計画（素案）について 2 今後の計画策定までのスケジュールについて

イ 業務委託

件 名	内 容	委 託 料（円）
第三次あきる野市環境基本計画策定業務	1 計画書の作成 2 会議支援 3 第三次計画の推進体制・進捗管理の構築 4 パブリックコメントの支援 5 業務報告書の作成 6 その他の支援・協力	9, 581, 000

(4) あきる野市環境委員会

ア あきる野市環境基本計画に掲げる事業の進捗状況の点検評価や市、市民及び事業者の協働による取組の企画・推進を行った。

開 催 日	内 容
令和 7 年 4 月 2 3 日	1 令和 6 年度活動実績及び令和 7 年度活動スケジュールについて 2 令和 7 年度「知る」活動について 3 環境フェスティバルについて
5 月 1 0 日	あきる野環境フェスティバル 2 0 2 5 「環境コーナー」への参加（グリーンカーテン用ゴーヤ苗の配布、環境委員会の展示についてなど）
6 月 2 5 日	「第二次あきる野市環境基本計画等施策進捗状況調査票」について
8 月 2 8 日	1 環境基本計画等施策進捗状況の点検評価の確認について 2 環境基本計画等に対する環境委員会からの意見のとりまとめについて 3 環境白書（案）について 4 「知る」活動について
9 月 2 5 日	1 環境白書（案）について 2 「知る」活動について
1 0 月 1 日	「知る」活動（あきる野ふるさと工房五日市）
1 1 月 4 日	1 委員長、副委員長の選出について 2 代表委員の選出について
令和 8 年 1 月 2 3 日	1 「知る」活動について 2 令和 8 年度環境フェスティバルのブース出展について
2 月 1 9 日	「知る」活動（生物多様性とホテルについての講演及びホテルの里づくり推進事業情報交換会への参加）
3 月 6 日	令和 8 年度環境フェスティバルの展示について

イ 業務委託

件 名	内 容	委 託 料（円）
環境白書作成業務	環境白書の作成支援	1, 177, 000

（5）港区環境交流事業

あきる野市と港区の子どもたちが、互いの異なる自然環境について理解を深めるため、両自治体の交互開催で交流会を行っている。令和 7 年度は、あきる野市にて、川で生きもの探し、あきる野の農産物についてのお話し、生きものビンゴを行った。

開 催 日	内 容	会 場
令和 7 年 8 月 6 日	「養沢川で生きものさがし&川あそび」 参加者 1 あきる野市 11 人（小学 3、4 年生） 2 港区 10 人（小学 3、4 年生）	小宮ふるさと自然体験学校

（6）グリーンカーテン普及事業

省エネ対策や夏の節電対策として効果のあるグリーンカーテンの普及啓発を行った。

ア ゴーヤ苗の市民配布

あきる野環境フェスティバル会場内において、環境委員会と共同で、来場者に対しゴーヤの苗の無料配布を行った。

配 布 日	内 容
令和 7 年 5 月 1 0 日	あきる野環境フェスティバル（環境コーナー） ゴーヤ苗の配布 600 本（1 人 2 本、300 人）

イ 公共施設でのグリーンカーテンの取組

子どもたちをはじめ市民への普及啓発のため、保育園、小学校、五日市郷土館のほか、計 11 施設に 230 本のゴーヤの苗を配布し、グリーンカーテンの実施を促進した。

ウ グリーンカーテン写真募集

市民及び市内事業者への普及啓発の一環として、グリーンカーテンの写真募集を実施した。市民等から提供された写真は、市ホームページ、五日市出張所及び中央図書館で展示した。

グリーンカーテン写真募集 応募件数 12 件

(7) エコドライブの推進

安全運転とともに、二酸化炭素排出量の少ない運転となるエコドライブの普及事業を実施した。

ア 「わたしのエコドライブ宣言」の実施

「わたしのエコドライブ宣言」の参加者に、車両貼付用エコドライブ啓発マグネットシートを配付した。

参加者数 3人

イ 普及啓発の取組

エコドライブの普及のため、庁用自動車へのエコドライブ啓発ステッカーの貼付を継続するとともに、市職員が市民の模範となるよう、給油時の記録による庁用自動車の燃費把握を行った。

(8) 小さな子どものおさんぽ会

小さな子どもたちに、本市の恵まれた自然とじっくり向き合う機会を提供し、本市の自然環境の担い手となる人材を育成するため、環境委員会の下部組織である「森のようちえん部会」の主催により、未就学児とその保護者を対象とした「小さな子どものおさんぽ会」やこれまでの参加者を対象とした「小さな子どものおさんぽ会」（特別企画）を実施した。

ア 「小さな子どものおさんぽ会」

開催日	場所	参加者数
令和7年 4月20日	菅生地区の鯉川	8組22人
5月18日	大澄山	3組9人
6月8日	弁天山（のんびりコース） （がんばりコース）	5組13人 3組8人
7月6日	草花公園水路	9組26人
9月21日	菅生若宮体験の森	5組18人
10月5日	秋川上流	6組22人
11月16日	横沢入里山保全地域	8組27人
令和8年 3月22日	瀬戸岡古墳周辺	9組27人

イ 「小さな子どものおさんぽ会」（特別企画）

開催日	場所	参加者数
令和7年 8月31日	小峰公園	9組27人
12月7日	小宮ふるさと自然体験学校	8組28人

(9) あきる野環境フェスティバル

出展者等が行う環境に関する様々な体験や体感を通じて、来場者が環境の保全について関心と理解を深めるとともに、環境について活動を始める契機となるイベントとして、あきる野環境フェスティバル運営委員会との共催により、「あきる野環境フェスティバル2025」を実施した。

ア 開催日 令和7年5月10日

イ 会場 都立秋留台公園

ウ 入場数 約2,600人

エ 内容

(ア) 環境コーナー	出展数	29団体
(イ) 飲食コーナー	出店数	5店
(ウ) ステージ	出演数	3団体
(エ) フリーマーケット	出店数	59店

(オ) 配布・講習会コーナー

- a ゴーヤ苗の配布 600本配布
- b 生ごみ処理堆肥化講習会 27人参加
- c 廃食油回収 41件

(10) 自然体験活動人材育成・普及啓発事業

環境に配慮したアウトドア活動の促進及び地域の環境保全と観光の健全な発展に資することを目的とした取組の一環として、体験活動における安全管理の重要性を啓発するため、リスクマネジメント研修を実施した。

開催日	場所	委託料	参加者数
令和7年 8月21日	第一部（座学） 武蔵五日市駅前拠点施設 「フレア五日市」 第二部（実地及び座学） 小宮ふるさと自然体験学校	105,010円	12人

2 ふるさとの緑地に関する事業

豊かな緑を確保するとともに、良好な緑地環境を維持するため、あきる野市緑地保全審議会の運営、保存緑地の管理、緑化指導等を行った。

(1) あきる野市緑地保全審議会の運営

緑の保全と緑化の推進に寄与する保存緑地の指定に関し、審議をする。令和7年度は諮問案件がなかったため、開催しなかった。

(2) 保存緑地制度の運用

保存緑地制度の運用により、市内の良好な緑の確保に努めた。

ア 保存緑地の管理

市の管理する保存緑地について、業務委託等により、剪定、伐採等を行い、適正な状態を維持した。

件名	内容	委託料(円)
保存緑地管理業務	草刈り、剪定及び伐採 7件	1,098,750

イ 保存緑地に対する補助金の交付

保存緑地に指定された樹林地及び屋敷林の管理に対する補助金と、樹木の枯死等を防止するための経費に対する補助金を交付した。

件名	内容	補助金額(円)
保存緑地補助金（樹林地）	2か所 5,670㎡	114,868
保存緑地補助金（屋敷林）	1件	10,000
樹木管理費補助金	1件	100,000

(3) 緑化の指導等

ア ふるさとの緑地保全条例に基づく指導

500㎡以上の面積の敷地における建築物、工作物等の設置や宅地造成その他土地の区画形質の変更の行為に対し緑化の指導を行い、届出書を受理した。

(ア) 緑化計画書の届出 4件

(イ) 宅地造成等に関する届出 12件

イ 工場立地法の届出

工場立地法による特定工場の新設や増設などに伴い、工場立地法及び工場立地法地域準則条

例に基づき、緑地の確保等の指導を行い、届出書を受理した。

(ア) 特定工場新設（変更）届出及び実施制限期間の短縮申請書 1 件

(4) 横沢入里山保全事業

里山保全地域に指定されている横沢入地区の管理運営事業を実施した。

ア 横沢入里山保全地域運営協議会への出席

地域住民、ボランティア、東京都、市等で構成される協議会に参画し、管理運営に必要な協議を行った。

開催日	内 容
令和7年 7月 2日	1 令和7年度活動計画及び令和6年度活動実績について 2 アライグマ被害対策について 3 ホタル対応について 4 東京都環境公社の業務について 5 令和7年度の工事予定について

イ 拠点施設等の管理

東京都からの委託により、横沢入地区の拠点施設等の管理を実施した。

ウ 業務委託

件 名	内 容	委 託 料 (円)
里山保全地域管理業務	1 利用者や自然環境の状況等の確認のための保守巡回 2 草刈・不法投棄物・一般ごみ回収などの保守管理 3 拠点施設の安全管理 4 拠点施設パトロール	3, 285, 000
拠点施設清掃等業務	1 施設内のトイレの清掃 2 施設内の清掃	153, 000
浄化槽保守点検業務	1 浄化槽の維持管理 2 浄化槽の汚泥汲取り及び清掃	104, 060
地区内設備修理等業務	1 地区内の倒木処理 2 地区内の草刈・伐採等 3 オオスズメバチ巣除去 4 丸太橋設置	806, 300

3 生物多様性保全事業

市内の自然環境の保全と活用を図るに当たり、生物多様性あきる野戦略に基づき、生態系の保全のため、あきる野市生きもの会議を運営するとともに、外来生物対策等を実施した。

(1) あきる野市生きもの会議

生物多様性あきる野戦略の推進のため、市内に生息し、又は生育する希少生物の保全方策等の検討を行う。令和7年度は下部組織である検討部会で、あきる野市版レッドリスト（昆虫）原案作成に向けた調査を実施している段階であるため、本会議は開催しなかった。

(2) あきる野市版レッドリスト検討部会

あきる野市版レッドリスト検討部会である昆虫部会は、あきる野市版レッドリスト（昆虫）の原案作成に向けた調査としてライトトラップ調査を行った。

ライトトラップ調査実施回数 12回

(3) あきる野市自然環境調査

生きものの会議の下部組織として自然環境調査部会を組織し、各班において自然環境調査を行うとともに、保全に関する検討を行った。

ア あきる野市自然環境調査部会

開催日	内 容
令和7年 4月16日	1 令和6年度活動報告・決算について 2 令和7年度活動計画について
12月17日	1 令和7年度予算の執行状況について 2 令和8年度環境フェスティバルの出展について 3 生きものの会議委員推薦について
令和8年 3月26日	1 令和7年度活動報告及び決算の作成について 2 令和8年度活動計画について 3 環境フェスティバル展示物について

イ 業務委託

件 名	内 容	委 託 料 (円)
あきる野市内自然環境調査業務委託	1 打合せ協議等 2 現地調査等 3 あきる野市版レッドリスト作成への協力 4 希少野生植物の分布図の作成	561,000

(4) 外来生物対策

生態系に被害を与えている外来種（アライグマ、ハクビシン、オオキンケイギク、オオブタクサ、クビアカツヤカミキリ、アメリカザリガニ、アカミミガメ）について、対策を実施した。

ア アライグマ及びハクビシン

あきる野市自然環境調査部会、森林レンジャーあきる野の調査結果及び市民による目撃情報を基に生息場所を特定し、市民及び地権者の協力の下、市内全域で捕獲を行った。

実施日	内 容
令和7年 4月 1日 ～令和8年 3月31日	1 実施箇所等 わな設置箇所 27地区 79か所 その他捕獲 3地区 3か所 2 捕獲実績 (1) アライグマ 61頭 (2) ハクビシン 11頭

イ オオキンケイギク

市民参加の除草イベント「外来植物除去作戦」は、以前から実施していた場所のオオキンケイギクの除草が進んだためイベントを開催せず、職員のみで除草を行った。

実施日	従 事 者 数 (人)
令和7年 5月16日	3

ウ オオブタクサ

東京都が主催する平井川流域連絡会と合同で「平井川オオブタクサ除去作戦」を開催し、市民、平井川流域連絡会会員、東京都西多摩建設事務所及び市職員で除草を行った。

実施日	従 事 者 数 (人)
令和7年 6月21日	16

エ クビアカツヤカミキリ

市職員による公共施設の調査結果及び市民による目撃情報等を基に寄生場所を特定し、成虫の捕殺及び幼虫の駆除を行った。被害木又は被害を受けるおそれがある樹木の所有者又は管理者が行う防除又は伐採に要する経費の一部を補助した。また、クビアカツヤカミキリの成虫の捕獲（捕殺）及び被害木の調査を実施するボランティアを募り、捕獲調査隊を結成した。

(ア) 被害木等の状況

実 施 日	内 容
令和7年 4月 1日 ～令和8年 3月31日	木の本数 1 期間内に確認した被害木本数 854本 2 市の所管施設等における伐採本数 10本 3 市民による伐採 23本

(イ) 補助金

件 名	内 容	補助金交付件数 (件)	補助金額 (円)
クビアカツヤカミキリ対策事業補助金	防除	0	0
	伐採	10	961,000

(ウ) 捕獲調査隊

実 施 日	従事者数 (人)	内 容
令和7年 6月 1日 ～12月31日	31	報告件数 309件 成虫捕獲数 1,261匹 被害木報告件数 76件

※ 従事者に対しては、講習会を令和7年5月14日及び17日の2回実施した。

オ アメリカザリガニ

市民参加のイベントなどによりアメリカザリガニの駆除を行った。

実 施 日	従事者数 (人)	内 容
令和7年 8月29日	10 (うち職員4)	釣りによる捕獲数 45匹 網による捕獲数 302匹 合計 347匹
令和7年 5月 1日 ～3月31日	2 (うち職員2)	わなによる捕獲 470匹

カ アカミミガメ

目撃情報等を基にアカミミガメ捕獲用のわなを設置し、駆除を行った。

実 施 日	内 容
令和7年 5月16日 ～7月30日	多摩川 (くじら池) に日光浴わなを設置 捕獲数 4匹

(5) ツキノワグマ対策

令和6年4月16日付けで東京都と締結した「あきる野市におけるツキノワグマ防除対策事業に関する基本協定書」に基づき、ツキノワグマ対策事業を受託し、見回りや追払い、緩衝帯整備、講習会等の防除対策を実施した。

ア 委託業務

実 施 日	内 容	委 託 料 (円)
令和7年 6月11日 ～令和8年 3月31日	見回り・追払い	600,000
令和7年 8月15日 ～ 9月15日	緩衝帯整備 (入野)	170,500
8月20日 ～ 9月26日	緩衝帯整備 (入野)	174,900
11月17日 ～ 11月26日	誘引物除去 (五日市)	46,200
11月19日 ～ 12月26日	緩衝帯整備 (入野)	289,300
12月24日 ～令和8年 2月27日	緩衝帯整備 (入野)	255,200
令和8年 1月13日 ～ 3月19日	緩衝帯整備 (乙津)	935,000

1月14日 ～ 2月27日	緩衝帯整備（入野）	269,500
2月4日 ～ 3月19日	緩衝帯整備（乙津）	275,000

イ 講習会

開催日	内 容	参加者数（人）
令和7年 9月 2日	ツキノワグマ対策講習会 ～ツキノワグマの生態や近づけさせない方法を学ぼう～	75人

4 地球温暖化対策事業

あきる野市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）及び第五次あきる野市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に基づく取組を推進した。

（1）温室効果ガス排出量等の集計

ア 第五次あきる野市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に基づき、市施設の光熱水及び冷媒封入設備の状況、用紙購入量等の管理を行い、温室効果ガスの排出抑制を推進した。

イ 業務委託

件 名	内 容	委 託 料（円）
地球温暖化対策進行管理 集計業務	温室効果ガスの総排出量その他環境負荷及び計画の目標達成の状況などの点検 1 本年度の調査実施支援 2 前年度実績値の全体集計 3 前年度課・主要施設別点検報告書の作成 4 第五次計画に定める取組の推進に関する支援	990,000

（2）省エネの推進

事業者の脱炭素化、家庭での二酸化炭素排出量の削減及び省エネ等に関する周知啓発を図るため、各種セミナーを実施した。

開催日	内 容	参加者数（人）
令和7年 4月24日	西武信用金庫共催 中・小規模事業者向け脱炭素・省エネセミナー	10
10月19日	講演会「今、なぜ太陽光発電 新しい制度と導入時の支援策」	20
12月14日	市民環境セミナー「親子で学ぶ！エネルギーの創・蓄・省と工作教室」	11
令和8年 2月18日	市民環境セミナー「家庭でできる省エネ・節電講座」	8

（3）クーリングシェルトアの指定

令和6年4月1日に施行された改正気候変動適応法に基づき、適当な冷房設備を有する等の要件を満たす施設を、指定暑熱避難施設（クーリングシェルトア）に指定した。

設置期間	設置施設
令和7年 4月23日 ～ 10月22日	公共施設13施設、民間施設9施設

※ 熱中症特別警戒情報が発令された場合に開放

※ 熱中症特別警戒情報が発令されていない場合でも令和7年6月1日から10月22日まで一時的に暑さをしのぐ場所（涼み処）として開放

1 郷土の恵みの森づくり

郷土の恵みの森構想及び生物多様性地域連携保全活動計画に基づく地域との協働の森づくりとして、町内会・自治会等が主体となり取り組んでいる昔道や尾根道の補修、景観の整備等を行う郷土の恵みの森づくり事業に対して交付金を交付した。令和7年度は、13の町内会・自治会等により20か所で事業が実施された。

カシノナガキクイムシ等を原因とするナラ枯れの被害を防止し、生物多様性の保全を推進するため、ナラ枯れの被害木又は被害を受けるおそれのあるコナラやミズナラ等のブナ科の樹木の所有者等に対して、倒木や落枝等により人身や家屋等に危害を及ぼすおそれがある被害木の伐採等に要する費用の一部を補助した。

(1) 昔道・尾根道補修等事業

町内会・自治会	内 容	期間 (年目)	距離 (k m)	階段 (m)	標識 (か所)	金 額 (円)
養沢自治会	サルギ尾根登山道補修事業	15	3.0	0	3	107,400
深沢自治会	大カシ・堀田尾根道整備事業	16	3.8	30	0	126,280
	大杉への探索路整備事業	13	0.6	50	0	50,000
三内自治会	天竺山周辺散策道整備事業	16	1.2	200	0	98,560
高尾自治会	高尾神社周辺尾根道整備事業	14	1.2	0	0	50,000
菅生町内会	菅生南尾根周遊道整備事業	15	4.0	0	0	77,600
	菅生北尾根周遊道整備事業	16	3.8	0	0	73,720
合 計		—	17.6	280	3	583,560

(2) 景観整備事業

町内会・自治会等	内 容	期間 (年目)	金 額(円)
深沢自治会	深沢川周辺景観整備事業	16	150,000
	南沢地区景観整備事業	16	150,000
軍道自治会	軍道地区石原沢景観整備事業	16	150,000
乙津自治会	乙津地内景観整備事業	15	150,000
青木平自治会	西青木平橋周辺景観整備事業	15	150,000
寺岡自治会	二反坂周辺景観整備事業	15	150,000
山下自治会	堂沢周辺景観整備事業	15	150,000
	長岳坂周辺景観整備事業	2	200,000
小机自治会	まいまい坂周辺景観整備事業	15	150,000
	坂下周辺景観整備事業	4	300,000
網代自治会	弁天山公園周辺景観整備事業	12	100,000
北郷いさぐり会	北郷いさぐり地区景観整備事業	10	150,000
三内自治会	天竺山山頂周辺景観整備事業	7	150,000
合 計		—	2,100,000

(3) ナラ枯れ対策事業

補助金交付件数	内 容	補助金額 (合計)
5 件	被害木の伐採 10 本	768,000

2 森林レンジャーあきる野

森林レンジャーあきる野は、登山道や山林地帯を巡視し、整備・補修するとともに、市内に生息する動植物の調査、滝や沢、巨木などの地域資源の掘り起こしなども行っている。さらに、地域の

森づくりに関連した自然環境体験イベントの開催など、森とその周辺にある地域資源の持つ魅力を市内外に向けて発信している。

また、市内の公立小学校の出前授業など、自然環境に関する活動を実施している。

(1) 環境教育に関する主な活動状況

実 施 日	内 容	参加者数
令和7年 5月10日	自然観察会（環境フェスティバル会場）	3
6月18日	南秋留小学校出前授業	64
9月 2日	ツキノワグマ対策講習会講師	75
9月19日	市民解説員講座講師	20
10月24日、28日	野生動物による被害を防ぐ安全教育 講師	300
10月25日	「新宿の森・あきる野」自然体験ツアーガイド	6
11月 2日	GTFグリーンチャレンジデー2025（新宿御苑）	—
12月13日	菅生大沢地区森づくり事業	15
令和8年 1月22日	南秋留小学校出前授業	86
1月31日	森林レンジャーあきる野ツアー	3
3月 2日	すぎの子保育園自然学習	1
3月 7日	生涯学習シンポジウム講師	50
3月18日	養沢サルギ尾根看板設置	2

(2) 情報発信の取組

- ア 森林レンジャーあきる野新聞の発行 8回
- イ 森林レンジャーがゆく（広報掲載） 7回

3 森林サポートレンジャーあきる野

郷土の恵みの森構想の実現に向け、町内会・自治会等との協働により郷土の恵みの森づくりを進めるため、市職員及び市民等による「森林サポートレンジャーあきる野」を設置している。

(1) 隊員の構成

- ア 人数 65人（令和8年3月31日現在）
- イ 内訳
 - （ア）市職員 17人
 - （イ）市民等 48人

(2) 活動状況

実 施 日	内 容	参加者数
令和7年 6月 8日	二反坂周辺景観整備事業（寺岡地区）	4
9月28日	二反坂周辺景観整備事業（寺岡地区）	4
12月 7日	石原沢景観整備事業（軍道地区）	5
12月13日	菅生大沢地区森づくり事業（菅生地区）	1
令和8年 2月15日	二反坂周辺景観整備事業（寺岡地区）	5
3月 8日	二反坂周辺景観整備事業（寺岡地区）	5
合 計		24

4 森の子コレンジャー

森づくりの推進役である森林レンジャーあきる野とともに、あきる野の自然と文化を守り引き継いでいく郷土愛を持った人材を育てることを目的に、第15期森の子コレンジャー（公募で募集した小学4、5年生の10人）が1年間活動した。

また、森の子コレンジャーOBによる同窓会として、自分たちが活動した森などの観察を行った。

(1) 第15期活動状況

実施日	内 容
令和7年 5月25日	始動式と初夏の自然（五日市出張所、五日市地区）
6月 8日	ビオトープと梅雨の自然（乙津地区周辺）
9月 7日	どんぐりと自然観察（五日市地区周辺）
9月28日	鳥の渡りと季節の自然発見（網代、高尾地区周辺）
12月14日	ビオトープ整備（小宮ふるさと自然体験学校周辺）
令和8年 1月18日	秋川下流の冬の生き物調査（秋川下流）
2月 8日	秋川中流の冬鳥の調査（秋川中流）
2月23日	冬の山歩きと季節の自然発見（戸倉地区～盆堀地区）
3月22日	終了式と春の自然（小宮ふるさと自然体験学校周辺）

(2) 同窓会活動

実施日	内 容	参加者数
令和7年11月23日	第3期から第14期同窓会 ビオトープ整備（小宮ふるさと自然体験学校周辺）	16

5 小宮ふるさと自然体験学校の運営

子どもたちを中心に自然とのふれあいや環境学習の場を提供することにより、心豊かな人間性を育むとともに、地域の活性化を図るため、小宮ふるさと自然体験学校を拠点とした各種自然体験事業等の実施及び施設の貸出しを行った。

(1) 自然体験事業等

内 容：	利用者数
あきる野市の自然体験事業（森っこサンちゃんクラブ等）	192
市内小中学校の自然体験事業	740
その他、学校等の体験事業	150
団体の自然体験事業（市内の団体）	743
団体の自然体験事業（市外の団体）	394
森の子コレンジャー	35
見学（校内見学）等	152
合 計	2,406

(2) その他イベント等

内 容	利用者数
ふれあい交流事業	705
施設の貸出し	2,054
その他（自然体験事業下見等）	215
合 計	2,974

6 自然環境学習

自然環境の保全や郷土愛を育む人材を育てるため、子どもたちが豊かな自然とふれあい、自然環境の大切さや生物多様性を学ぶ自然環境学習を業務委託により実施した。

事業名	内 容	回数	参加者数
菅生子どもの森活動	火起こし体験など	6	42
子どもが主役のオオムラサキの森活動	オオムラサキの幼虫調査など	6	49
合 計		12	91

7 ホタルの里づくり

(1) ホタルの里づくり推進事業

ホタルが生息している地域の町内会・自治会が中心に行っている河川の清掃などの保全活動やホタルの鑑賞会などの取組を支援した。

町内会・自治会	団 体 名	金 額 (円)
深沢自治会	深沢ほたるの会	54,000
雨間町内会	南郷用水ホタルの会	54,000
落合自治会	落合自治会ほたるの会	54,000
下引田町内会	一の谷地区ほたるの会	54,000
合 計		216,000

(2) ホタル保全活動事業

圏央道のトンネル上部に設置された菅生公園内の管理及び水路の美化等によるホタルの保全活動を「菅生ホタルの里づくりの会」に業務委託した。

ア 委託事業者 菅生ホタルの里づくりの会

イ 履 行 期 間 令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

ウ 委 託 料 54,000円

(3) ホタルの里づくり推進事業に係る情報連絡会

ホタルの保護や環境整備に取り組んでいる団体を対象に、情報交換会を開催した。

開 催 日	内 容
令和8年 2月19日	ホタルの保全活動を実施している団体代表者による講演を行った後、各団体の取組状況や課題等について情報交換を行った。

8 森っこサンちゃん

市のイメージキャラクターである「森っこサンちゃん」は、各種刊行物や各種イベント等において、里山環境の保全や観光のPR活動などに広く活用されているほか、「『森っこサンちゃん』の使用に関する要領」に基づき、事業者により各種商品等に活用されている。また、着ぐるみについては、「『森っこサンちゃん』着ぐるみ使用基準」に基づき、市のイベント等で活用している。

(1) 事業者等による森っこサンちゃんのイラスト使用状況

承認件数：20件



(2) 着ぐるみの活用

事業	市主催又は共催	環境教育関連	観光・商工関連	その他	合 計
回数	20	5	15	7	47

1 環境確保条例に関する委任事務

環境確保条例（都民の健康と安全を確保する環境に関する条例）に基づく事務の一部を都から受任しているため、同条例に基づく工場の認可、指定作業場の届出及び地下水揚水施設の揚水量報告に係る指導等を行った。

(1) 工場設置及び変更認可件数の推移 (単位：件)

種 類	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
設置認可	1	1	1	2	1
変更認可	3	5	7	5	6

(2) 指定作業場設置及び変更届出件数の推移 (単位：件)

種 類	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
設置届	6	1	2	7	4
変更届	1	4	2	2	1

(3) 地下水揚水量報告書提出件数 (単位：件)

工場	4	指定作業場	7	その他	6	合計	17
----	---	-------	---	-----	---	----	----

2 騒音規制法及び振動規制法に基づく届出

騒音規制法及び振動規制法により、特定施設の届出に係る指導等を行った。

(1) 騒音規制法に基づく特定工場数と特定施設数 (単位：件)

種 別	秋川地区	五日市地区	合 計
特 定 工 場	71	54	125
特 定 施 設	507	194	701

(2) 振動規制法に基づく特定工場数と特定施設数 (単位：件)

種 別	秋川地区	五日市地区	合 計
特 定 工 場	65	28	93
特 定 施 設	606	152	758

(3) 騒音規制法に基づく特定建設作業の届出数 6件

(4) 振動規制法に基づく特定建設作業の届出数 6件

3 公害に関する苦情

(1) 苦情受付現象別件数 (単位：件)

区分	悪臭	汚水	騒音	振動	粉じん	ばい煙	焼却行為	その他	合計
件数	7	0	14	0	4	0	19	61	105

(2) 発生源別・用途地域別苦情受付件数 (単位：件)

用途地域 公害種目		低層住宅	中高層住宅	住宅地域	近隣商業	商業	準工業	工業	工業専用	無指定	合 計
発生源別	工 場	1	2	0	1	0	0	0	0	1	5
	指定作業場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	建設作業	7	0	0	0	0	0	0	0	2	9
	一 般	49	2	3	3	0	1	0	0	33	91
	合 計	57	4	3	4	0	1	0	0	36	105

4 空き地の管理の適正化に関する条例に基づく事務

(1) 苦情受付発生源別件数

区分	雑草等繁茂	廃棄物放置	害虫発生	その他	合計	指導件数	勧告件数
件数	29	0	0	0	29	26	0

(2) 草刈機貸出し件数 69件

5 環境調査

(1) 秋川・平井川河川水質調査〈年間4回（※1）実施の平均値〉

調査項目・単位 調査地点	PH 水素イオン 濃度	BOD 生物化学的 酸素要求量	SS 浮遊物質	DO 溶存酸素量	大腸菌数
	－	mg/l	mg/l	mg/l	CFU/100ml
西青木平橋（秋川）	7.5	0.6	1.3	11.3	4
落合橋（秋川）	7.3	<0.5	1.3	11.1	－
沢戸橋（秋川）	7.5	<0.5	1.3	11.1	－
秋川橋（秋川）	7.5	<0.5	<1	11.6	11
天王沢（秋川合流点）	7.4	<0.5	1.3	11.1	－
三内川（秋川合流点）	7.4	<0.5	1.3	11.2	－
清水荘前（秋川）	7.4	<0.5	<1	11.3	－
引田堰（秋川）	7.5	0.5	<1	10.9	10
秋留橋（秋川）	7.4	0.6	1.3	10.8	－
東秋川橋（秋川）	7.5	<0.5	2	11.1	13
舞知川（秋川合流点）	7.3	0.5	1.8	11.0	－
高橋上流（養沢川）	7.6	<0.5	<1	11.1	1
五日市解体下（養沢川）	7.4	0.6	<1	10.6	2
小宮ふるさと自然体験学 校前（養沢川）	7.5	0.6	<1	11.2	－
観音橋（平井川）	7.6	0.6	2.8	10.7	14
小宮久保橋（平井川）	7.5	0.6	1.3	11.0	－
新開橋（平井川）	7.4	0.6	1.5	10.7	－
多西橋（平井川）	7.6	<0.5	1.3	11.3	10
鯉川橋（鯉川）	7.4	0.7	1	10.8	－
氷沢川ヒル橋（氷沢川）	7.6	0.6	1.3	11.1	－
環境基準（※2）	6.5～8.5	1 mg/l 以下	25 mg/l 以下	7.5 mg/l 以上	20CFU/100 ml 以下

※1 採取日：令和7年5月8日、8月7日、11月4日、令和8年2月10日

※2 河川AA類型（秋川・平井川・養沢川）の環境基準値

(2) 清流保全条例施行に伴う湧水及び合流点の水質分析調査（採取日：令和8年2月17・18日）

調査項目・単位 調査場所	PH 水素イオン 濃度	BOD 生物化学的 酸素要求量	全窒素	アンモニア 性窒素	大腸菌数
	－	mg/l	mg/l	mg/l	CFU/100ml
山田八幡神社裏	6.5	<0.5	4.93	0.02	0
真城寺	6.5	<0.5	4.36	0.02	0
白滝神社	6.8	<0.5	4.58	0.02	2
牛沼287番地	6.7	<0.5	4.34	0.02	2
雨間698番地（※2）	－	－	－	－	－
秋川グリーンスポーツ公 園前	6.9	<0.5	3.82	0.02	2

小川 8 2 0 番地	6.8	<0.5	5.17	0.02	4
平沢 6 1 7 番地(※2)	-	-	-	-	-
広済寺付近	6.7	<0.5	5.15	0.02	2
二宮お滝	6.5	<0.5	5.06	0.02	4
二宮神社お池	6.7	<0.5	5.77	0.02	4
八雲神社	6.5	<0.5	5.20	0.02	2
草花公園	6.5	<0.5	4.47	0.02	0
草花 1 1 2 7 番地	6.5	<0.5	3.39	0.02	0
草花小学校西(※2)	-	-	-	-	-
菅生夫婦橋下	6.5	<0.5	4.26	0.02	0
折立坂(※2)	-	-	-	-	-
南秋留小横	8.4	<0.5	1.33	0.02	6
旧ミユキ組宿舎(西)	8.5	<0.5	2.18	0.02	4
舞知川(※2)	-	-	-	-	-
広済寺下	7.3	<0.5	5.38	0.02	4
玉見ヶ崎公園隣	7.6	<0.5	3.68	0.02	4
養沢川	7.4	<0.5	1.03	0.02	0
盆堀川	7.3	<0.5	1.11	0.02	4
入野沢	7.2	<0.5	1.93	0.02	6
北裏水路	7.3	<0.5	2.32	0.02	2
樽沢	7.3	<0.5	3.57	0.02	0
宮の入沢	7.2	<0.5	1.40	0.02	4
横沢	7.2	<0.5	1.71	0.02	2
引谷川	7.6	<0.5	2.04	0.02	4
溝ッ堀	7.5	0.5	4.08	0.02	2
北川原(※2)	-	-	-	-	-
ふれあい橋(※2)	-	-	-	-	-
鯉川合流	7.1	<0.5	5.94	0.02	2
氷沢川	7.4	<0.5	1.88	0.02	2
新開橋下	7.4	0.5	3.76	0.02	4
参考値(※1)	6.5~8.5	1mg/l 以下	基準なし	0.1mg/l 以下	20CFU/100 ml 以下

※1 湧水の環境基準がないため、河川AA類型（秋川・平井川・養沢川）の環境基準値を参考値として記載する。

※2 雨間 6 9 8 番地、平沢 6 1 7 番地、草花小学校西、折立坂、舞知川、北川原、ふれあい橋では、湧水が確認できなかったため、調査を行っていない。

(3) 地下水汚染調査（採取日：令和7年4月15日）

調査を行った全ての地点、全ての項目について環境基準を満たしていた。（単位：mg/l）

調査地点 調査項目	草花 1 2672 番地 (※)	草花 2 1837 番地	野 辺 408 番地	雨 間 652 番地	湧 上 312 番地	伊 奈 1133 番地	留 原 83 番地	環境基準
トリクロエチレン	-	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01 mg/l 以下
テトラクロエチレン	-	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01 mg/l 以下
1, 1, 1-トリクロ ロエタン	-	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	1 mg/l 以下

※ 草花 1 では井戸ポンプが故障し採水できなかったため、調査を行っていない。

(4) その他の水質関係調査

ア 工場等排水調査	年 1 回	7 事業場
イ ゴルフ場水質調査	年 1 回	2 か所
ウ 秋川・平井川大腸菌調査（ふん便性）	年 1 回	1 1 か所
エ 多摩川及び関連河川水質合同調査	年 2 回	2 か所
オ 秋川・平井川水生生物調査	年 2 回	6 か所

(5) 一般大気環境調査（粉じん）（測定日：令和 8 年 1 月 2 9 日～3 0 日（2 4 時間））

全ての地点で環境基準を満たしていた。（単位：mg/m³）

調査地点	
屋城小学校	0.0292
農業会館	0.0206
一の谷児童館	0.0280
いきいきセンター	0.0259
阿伎留医療センター	0.0282
秋川学校給食センター	0.0691
汚泥再生処理センター （玉美園）	0.0161
野辺地内	0.0259
草花地内	0.0166
あきる野市役所	0.0215
五日市センター	0.0185
留原自治会館	0.0151
五日市出張所	0.0247
横澤自治会館	0.0167
五日市ファインプラザ	0.0237
環境基準	1 時間値の 1 日平均値が 0.10mg/m ³ 以下かつ 1 時間値が 0.20mg/m ³ 以下であること

(6) 市内主要地点での二酸化窒素調査（簡易調査法（フィルターバッチ法）による）

全ての調査日、全ての地点で環境基準を満たしていた。

（単位：ppm）

調査地点	5 月	9 月	1 1 月	2 月	平均値
野辺交差点	0.011	0.011	0.009	0.015	0.012
小川交差点	0.011	0.011	0.010	0.017	0.012
二宮本宿交差点	0.011	0.009	0.010	0.016	0.012
氷沢橋交差点	0.012	0.008	0.011	0.015	0.012
菅生交差点	0.016	0.010	0.012	0.017	0.014
上菅生バス停	0.005	0.005	0.004	0.006	0.005
瀬戸岡交差点	0.015	0.011	0.013	0.020	0.015
秋川交差点（西秋留）	0.009	0.008	0.010	0.014	0.010
秋川駅西踏切	0.014	0.014	0.009	0.015	0.013
油平交差点	0.013	0.011	0.011	0.016	0.013
秋留橋	0.021	0.013	0.012	0.017	0.016
湧上交差点	0.011	0.009	0.012	0.013	0.011
山田交差点	0.010	0.008	0.010	0.011	0.010
留原交差点	0.006	0.005	0.005	0.010	0.007
小中野交差点	0.008	0.006	0.005	0.009	0.007
十里木交差点	0.005	0.005	0.006	0.013	0.007
青木平橋入口	0.005	0.005	0.006	0.008	0.006

小宮ふるさと自然体験 学校入口	0.002	0.003	0.003	0.006	0.004
五日市出張所	0.004	0.004	0.004	0.007	0.005
東町交差点	0.008	0.007	0.007	0.011	0.008
武蔵五日市駅前	0.010	0.008	0.010	0.012	0.010
小机バス停	0.012	0.009	0.012	0.013	0.012
全地点の平均濃度	0.010	0.008	0.009	0.013	0.010
環境基準	1時間値の1日平均値が0.04～0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下				

(7) 大気中ダイオキシン類調査（測定日：令和7年8月20日～27日（168時間））

全ての地点で環境基準を満たしていた。（単位：pg-TEQ/m³）

あきる野市役所	五日市出張所	環境基準
0.0070	0.0064	0.60以下

(8) その他の調査

ア 工場等臭気調査	年1回	2工場
イ 道路沿道環境調査	年1回	4地点（交通量、騒音調査）
ウ 採石場周辺環境調査	年4回	粉じん・重金属、二酸化窒素、交通量等の調査
エ 事業所関連環境調査	対象事業所2社（水質関係）	

(9) 多摩西部における光化学スモッグの状況

ア 月別 () 内は都内全域の件数 (単位：件)

種 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合 計
学校情報	0 (0)	0 (1)	2 (3)	1 (5)	3 (12)	0 (2)	0 (0)	6 (23)
注 意 報	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	1 (5)	0 (1)	0 (0)	1 (8)
警 報	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

イ 経年変化

年度	平成 30年	令和 元年	2年	3年	4年	5年	6年	7年
注意報発令回数	2	1	0	0	1	0	2	1

6 石綿特定粉じん排出等事前調査結果報告（法第18条の15第6項）

解 体	改 修	合 計	立入り件数
86件	219件	305件	79件

7 空間放射線測定

平成23年から行ってきた定点測定（4か所 年2回実施）は、基準値を下回る安定した数値のため、令和7年度から測定を休止した。

1 ごみ処理事業

(1) ごみ収集実績

分別区分	収集量及び 持込み量(t)		収集 日数	収集日1日当 り収集量(t)	行政区域内人口 (収集人口)	1人1日 排出量(g)
可燃ごみ	収 集	15,749	103	152.903	78,695	548.3
	持 込 み	249				8.7
不燃ごみ	収 集	313	24	13.042		10.9
	持 込 み	0				0.0
資 源	収 集	3,440	48	71.667		119.8
うちペットボトル	収 集	204	(24)	8.500		7.1
うち白色トレイ	収 集	2	(24)	0.083		0.1
うち小型電子機器	収 集	43	(24)	1.792		1.5
有害ごみ	収 集	32	(24)	1.333		1.1
粗大ごみ	収 集	276	(123)	2.244		9.6
	持 込 み	621				21.6
総 量		20,680				720.0

※1 行政区域内人口及び収集人口は、令和7年10月1日現在

※2 () 内の日数は、他の収集日と重なるため、収集日の合計には含めない。

※3 1人1日排出量(g)は、365日で除する。

(2) 犬猫等死体処理

(単位：体)

区 分	犬	猫	その他	合 計
有 料	9	16	5	30
無 料	2	63	563	628
合 計	11	79	568	658

※ 飼主のいる場合は、有料(市役所へ持込み3,300円、自宅へ収集6,000円)

飼主不明の場合は無料。その他の欄の有料はウサギ・鳥等のペット、無料は主にハクビシン、たぬき、野鳥など。

(3) ごみ収集業者及び収集区域

業 者	区 域
島田産業(有)	雨間・野辺・小川・二宮・平沢・牛沼・秋留等
浦野産業(株)	草花・瀬戸岡・引田・湧上・秋川等・伊奈一部(引田区画整理地内)
(株)鈴木商店	雨間・切欠・菅生・牛沼・大規模事業所等
松村ダスト(有)	山田・伊奈・五日市・小中野・戸倉・乙津等

(4) 粗大ごみ収集件数

業 者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
島田産業(有)	253	326	309	274	304	205	350
浦野産業(株)	367	370	378	400	311	323	391
松村ダスト(有)	149	145	147	176	122	132	174
合 計	769	841	834	850	737	660	915
業 者	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
島田産業(有)	345	410	276	216	266	3,534	
浦野産業(株)	378	488	317	229	313	4,265	
松村ダスト(有)	140	185	105	134	161	1,770	
合 計	863	1,083	698	579	740	9,569	

なお、令和 7 年 2 月に、「あきる野市資源とごみの出し方カレンダー」を発行し、「充電して使用する製品群」を有害ごみとする分別変更を行った。（カレンダー発行は隔年実施事業）

（５）減免用ごみ袋交付事業実績

該 当 項 目	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	合 計
減免世帯数	524	464	109	123	12	6	8	1,554	2,800

ア 生活保護受給世帯

イ 児童扶養手当受給世帯

ウ 特別児童扶養手当受給世帯

エ 身体障害者福祉法により 1 級又は 2 級の身体障害者手帳の交付を受けている方が属する世帯で前年度の住民税が非課税の世帯

オ 東京都愛の手帳交付要綱により、1 度又は 2 度の愛の手帳の交付を受けている方が属する世帯で前年度の住民税が非課税の世帯

カ 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律により 1 級の精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方が属する世帯で前年度の住民税が非課税の世帯

キ 国民年金の遺族基礎年金受給世帯

ク 65 歳以上のみの世帯で、前年度の住民税が非課税の世帯

（６）ボランティア袋配布事業実績（1 組 10 枚）

番号	配布場所		可燃 (大)	可燃 (小)	不燃 (大)	不燃 (小)	合 計
1	生活環境課	配布組数	800	231	41	76	1,148
2	宿直室	配布組数	7	0	2	0	9
3	市民課窓口	配布組数	9	3	3	0	15
4	あきる野ルピア	配布組数	106	28	5	7	146
5	五日市ファインプラザ	配布組数	139	37	18	7	201
6	五日市出張所	配布組数	149	53	25	33	260
7	中央公民館	配布組数	43	26	8	0	77
8	いきいきセンター	配布組数	8	1	0	0	9
9	西秋川衛生組合	配布組数	0	0	0	0	0
10	東部図書館エル	配布組数	81	28	0	1	110
合 計		配布組数	1,342	407	102	124	1,975

※令和 5 年度までで、中央図書館増戸分室でのボランティア袋の配布を終了した。

2 し尿処理事業

（１）し尿処理実績

（人口は令和 7 年 10 月 1 日現在）

行政区域内 人 口	総収集量 (kℓ)	収集日数 (日)	1 日収集量 (kℓ)	収集人口 (人)	1 人 1 日 排出量 (ℓ)
78,695	1510.09	242	6.240	500	8.27

※ 1 人 1 日排出量 (ℓ) は、365 日で除する。

（２）し尿処理業者及び収集区域

業 者	サンエー（有）	（有）五日市清掃
区 域	秋川地区	五日市地区

（３）し尿浄化槽収集実績

（人口は令和 7 年 10 月 1 日現在）

行政区域内 人 口	総収集量 (kℓ)	収集日数 (日)	1 日収集量 (kℓ)	収集人口 (人)	1 人 1 日 排出量 (ℓ)
78,695	2,903.16	242	11.997	3,824	2.08

※ 1 人 1 日排出量 (ℓ) は、365 日で除する。

3 一般廃棄物処理手数料徴収事務

(単位：円)

区 分	予算現額	調定額	収入額	不納 欠損額	還付 未済額	収入 未済額
家 庭 ご み	180,074,000	172,531,140	172,531,140	0	0	0
事 業 所 ご み	52,844,000	50,068,400	50,068,400	0	0	0
粗 大 ご み	10,310,000	8,879,900	8,879,900	0	0	0
し 尿	4,105,000	3,529,550	3,455,800	0	0	73,750
動物死体処理	225,000	109,800	109,800	0	0	0
臨時多量ごみ	1,824,000	2,248,800	2,248,800	0	0	0
合 計	249,382,000	237,367,590	237,293,840	0	0	73,750

4 一般廃棄物処理施設見学

西秋川衛生組合ごみ処理施設について、見学を受け入れた。

小学校等の教育機関 0 団体 0 人

一般団体（小学校等の教育機関を除く） 5 団体 114 人

5 ごみ減量化・資源化事業

(1) イベント関係 あきる野環境フェスティバル2025

フリーマーケット等での不用品の再利用啓発や、生ごみ堆肥化講習会、フードドライブ受付や
廃食油の回収事業などを実施した。

(2) 資源集団回収事業

ア 回収実績等

(ア) 登録団体数 93 団体

(イ) 実施回数 754 回

(ウ) 奨励金額 16,969,516 円（紙類等取引料4,050,309 円含む。）

(エ) 回収量 (単位：kg)

紙 類	鉄 類	アルミ類・銅等 の金属	ビン類	ビンケース	合計
1,350,103.00	22,941.50	23,415.50	14,759.80	124.00	1,411,343.80

イ 資源集団回収団体表彰 優良3 団体

(3) EM菌生ごみ処理容器貸与事業実績

ア 令和7 年度貸与数 38 世帯 73 個

イ 通算貸与数 3,212 世帯 6,285 個

(4) ごみ問題啓発用ポスターコンクール

ア 対象者 市内小学校4 年生から中学校3 年生まで

イ 応募数 307 点（小学生95 点、中学生212 点）

ウ 審査結果 入賞11 点（小学生4 点、中学校7 点）※応募点数約30 点に一つの賞

エ 展示期間・場所

・令和7 年11 月19 日から11 月25 日まで

あきる野市立中央図書館1 階ホール

・令和7 年11 月26 日から12 月2 日まで

五日市地域交流センター

オ 市内指定ごみ収集袋販売店及び掲出の希望があった店舗72 店に入賞作品を活用した啓発ポ
スターを掲出

(5) 廃棄物減量等推進員（ごみ会議）活動実績

ア 会議6回開催

イ ごみ情報誌「へらすぞう」発行 1回

ウ 生ごみ堆肥化講習会 5回 114人参加

※ 2月に開催した堆肥化講習会については「はじめてのコンポストバッグ講座」として、ダンボール方式コンポストではなく、不織布バッグタイプのコンポスト講習会を実施した。

エ 小学校への出張ごみ授業

小学校4年生を対象に、生ごみ堆肥化講習会の出前授業を実施したほか、収集車車両の展示と実演、ごみ処理の仕組み、生ごみの水切り、堆肥化などの啓発を実施した。

(6) フードドライブ事業食品収集及び提供実績 (5月、10月、2月 3回実施)

ア 収集実績

実施日	本庁舎	五日市出張所	その他
令和7年 5月10日 (環境フェスティバル内)			10.0kg、8件
10月27日 ～10月31日	57.7kg、18件	24.7kg、6件	
令和8年 2月12日 ～2月18日	41.9kg、18件	10.5kg、2件	

合計収集量 144.8kg 受付件数 52件

イ 令和7年度食品提供先

(ア) 生活福祉課への提供

10.0kg (5月 10.0kg、10月 0.0kg、2月 0.0kg)

(イ) こども政策課・こども家庭センターへの提供

134.8kg (5月 0.0kg、10月 82.4kg、2月 52.4kg)

(7) 廃食油回収事業

家庭から排出される使用済み又は賞味期限切れの油を回収し、石けん原料等製造業者に有価物として売却し、再資源化する事業を実施した。(都協力事業に限り、航空燃料に再資源化)

期間	回収量及び件数
令和7年 5月10日(環境フェスティバル内)	約215ℓ、41件
8月 4日から 8月29日まで(都協力事業)	約110ℓ、42件
10月27日から10月31日まで	約219ℓ、50件
令和8年 2月12日から 2月18日まで	約168ℓ、36件

(8) 小学校へ出張ごみ授業

小学校4年生を対象に、西秋川衛生組合のごみ処理の仕組みや、充電池を内蔵する製品等の分別について授業を行い、ごみ収集車の実物展示と巻き取り作業の体験をもらった。

また、サントリーグループとペットボトルの水平リサイクルに関する協定を締結したことに伴い、サントリーグループから講師の派遣を受け、多西小学校、草花小学校でリサイクルに係る講義を行った。

(9) 使用済みインクカートリッジの回収事業

ジット株式会社と協定を活用し、市内4か所に使用済みインクカートリッジの回収ボックスを設置し、プラスチック製品の再資源化を行った。

ア 設置施設 本庁舎、五日市出張所、五日市ファインプラザ、東部図書館エル

イ 回収実績 年間収集重量 443.1kg

重量を元に計算した概算個数14,770個、二酸化炭素換算排出削減量 1,130kg

※ 概算個数及び排出削減量はジット株式会社からの報告による。

(10) プラスチック再資源化事業（使用済み文具、コンタクトレンズ空ケース）

H O Y A株式会社アイケアカンパニーとの協定書及び株式会社パイロットコーポレーションと覚書に基づき、プラスチック製品の回収を実施した。

ア H O Y A株式会社アイケアカンパニー 設置施設 本庁舎

回収量 43.32kg(43,320個相当) 回収品目 コンタクトレンズ使用済み容器

イ 株式会社パイロットコーポレーション 設置施設 中央図書館、五日市図書館

回収量 中央図書館 15.3kg、五日市図書館 5.6kg

回収品目 プラスチック製文具類（シャープペンシル等筆記具）

株式会社パイロットコーポレーションによる回収ボックスの設置を市内小中学校に呼び掛けを行い、秋多中学校、東中学校、五日市中学校に令和7年度から新たに設置することになった。

(11) 粗大ごみ減量にむけた不要品回収及びリユース促進事業

西秋川衛生組合への持込みが増加していることを背景に、粗大ごみの減量を目的として、不要品回収イベントを開催し、不要品についてはリユース業者である株式会社 ECOMMIT に有価物として売却し、売却した収益を減量化施策の予算に充当した。

実施日	回収量	リユース量	廃棄量
令和7年 5月10日	1,068kg	1,068kg	0kg
8月23日	1,241kg	1,188kg	53kg
10月26日	1,615kg	1,460kg	155kg

(12) リユース促進に関する協定の締結

複数の業者から不要品の一括査定が可能な買取りマッチングサービスを提供するウリドキ株式会社と、令和7年7月1日付けで「循環型社会に向けたリユース促進に関する協定書」を締結し、市ホームページの粗大ごみの出し方のページに、ウリドキのリンクを設けて、粗大ごみにせず、リユース市場に還流させるよう啓発を行った。

6 不法投棄防止対策事業

(1) 不法投棄防止パトロール事業

週2回（年間102日間）2人1組で市内を巡回し、パトロールと回収作業を行った。

ア 回収件数 1,294件

イ 回収量 12.04t

ウ リサイクル法等対象投棄件数 12件

エ リサイクル法等対象投棄の内訳

（ア）家電リサイクル法4品目処理件数 12件

（イ）パソコンリサイクル法品目処理件数 0件

（ウ）自動車リサイクル法品目処理件数 0件

（エ）処理不能件数 0件

※令和6年度に回収し、倉庫保管していた9件の家電リサイクル法対象品も合わせて処理を行い、令和7年度中に21件を適正処理した。

(2) 河川等清掃及び不法投棄ごみ収集

実 施 日	作業名	内 容
令和7年 5月25日(春季) 11月30日(秋季)	あきる野市 一斉清掃	町内会・自治会、漁協(五日市地区)、PTA等の協力により、春、秋の2回、市内各地の道路や河川等の清掃を実施した。 町内会・自治会参加人数 春季 参加人員 11,556人 ごみ収集量 32.95t 秋季 参加人員 11,052人 ごみ収集量 17.50t
令和7年 4月 1日から 令和8年 3月31日まで	河川等ごみ 収集	養沢川を守る会、自治会等に委託し、河川等の投棄ごみを収集した。 委託延べ人員 973人
令和7年 5月24日から 令和8年 2月14日まで	団体による 道路・河川 等清掃	市内小中学校PTAにより、道路や河川等の清掃を実施した。 参加延べ人員 3,808人 (うち河川208人)

(3) 不法投棄対策に係る協定締結

ポイ捨てごみ等の位置情報と拾った実績を記録し、清掃活動を行う市民同士が交流できるソーシャルメディアサービスを運営する株式会社ピリカと「あきる野市・株式会社ピリカ 環境美化保全活動の連携促進に関する協定」を令和8年1月30日付けで締結した。

SNSピリカの活用に関して、ボランティア袋の配布時に広報用カードを配布し、清掃活動を行う市民同士の交流を促進し、1月に開催された生活環境係主催の河川清掃のイベントでも周知した。

7 斎場事業

(1) 火葬場使用状況

(単位：回)

市町村名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
あきる野市	102	68	84	78	82	84	87	78	94	94	80	107	1,038
日の出町	25	28	28	24	29	30	35	25	38	36	34	31	363
檜原村	4	4	1	9	3	3	2	7	7	9	6	4	59
奥多摩町	12	11	13	13	6	11	13	10	18	18	16	18	159
組合外	13	17	12	8	7	12	8	8	16	10	6	14	131
合計	156	128	138	132	127	140	145	128	173	167	142	174	1,750

(2) 斎場使用状況

(単位：回)

市町村名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
あきる野市	30	28	20	24	25	25	27	25	30	22	22	31	309
日の出町	7	9	17	9	9	13	13	10	13	6	11	11	128
檜原村	2	2	0	3	2	0	1	1	2	6	1	0	20
奥多摩町	2	5	6	1	3	5	6	3	3	4	6	3	47
組合外	2	2	4	3	2	0	3	2	1	2	0	3	24
合計	43	46	47	40	41	43	50	41	49	40	40	48	528

8 家庭用小型焼却炉無料回収事業

令和7年度については、回収実績なし。

農林課 農政係

1 農業総務事業

農業会館の利用実績について

施設区分	利用件数 (延べ利用 団体数)	使用料			
		徴収分		減免分	
		件数	金額(円)	件数	金額(円)
展示室	155	143	146,400	12	52,800
会議室	32	22	15,600	10	50,800
研修室	11	0	0	11	54,000
集会室	161	121	99,500	40	112,500
合計	359	286	261,500	73	270,100

2 農業振興事業

(1) 農業振興資金利子補給事業の利用状況

資金の用途	件数	貸付金 (千円)	利子補給額 (円)	備考
市長が認めた災害復興 資金	3	3,540	223	雪害による被災パイ プハウス等

(2) 市民農園貸付状況等

ア 貸付状況

農園	区画数	貸付区画数	利用者数
上ノ台農園	64	60	45
上ノ台第2農園	76	69	49
森ノ上農園	86	75	50
合計	226	204	144

イ 利用者負担金 1,459,200円

ウ 技術指導員報酬 1,017,646円(管理・指導 年間156日)

3 秋川ファーマーズセンター管理事業

指定管理者による管理

名称	指定管理者	指定期間	令和7年度 利用者数
秋川ファーマーズセンター	秋川農業 協同組合	令和6年 4月 1日 ～令和11年 3月31日	237,378

4 有害鳥獣捕獲事業

農作物等に対する有害鳥獣等の捕獲の状況

実施期間	獣種	実施区域	頭羽数
令和7年4月1日 ～令和8年3月31日	イノシシ	市内全域(市街地を除く。)	33頭
	サル	五日市地区(市街地を除く。)	7頭
	ハクビシン タヌキ アライグマ アナグマ	市内全域	142頭
	キジバト カラス ムクドリ ヒヨドリ	市内全域(市街地を除く。)	86羽

	シカ	市内全域（市街地を除く。）	41頭
--	----	---------------	-----

5 獣害防止対策事業

（1）獣害防止警戒システム整備事業委託

ア 委託先 東京都猟友会五日市地区

イ 委託業務 サルの追い払い

五日市地区（五日市・戸倉・小宮地区）2人 150日間

ウ 委託料 4,130,000円

（2）加害獣侵入防止対策事業

ア 簡易電気柵貸出件数 61件

イ 電気柵設置補助

（3）有害鳥獣捕獲支援事業

ア 有害鳥獣捕獲業務委託 2,850,000円

イ 有害鳥獣絶命処分業務委託（ハクビシン等） 210,000円

ウ 有害鳥獣捕獲業務委託（カラス等） 100,000円

（4）あきる野の農と生態系を守り隊事業補助金

ア 保険加入補助 49件 80,000円

イ 技能講習等補助 14件 141,000円

ウ 診断書料補助 8件 22,500円

エ 狩猟免許取得講習会 5件 29,000円

オ 銃の所持許可の手数料 14件 98,400円

6 地域農政推進対策事業

（1）認定農業者等担い手育成総合支援協議会

開催日	内容
令和7年 9月25日	令和6年度事業報告について 令和7年度事業計画（案）について 新規就農者提案型農業経営支援事業プレゼン発表 農業経営改善計画認定審査（更新：1件）
令和8年 2月20日	農業経営改善計画認定審査について（新規：2件更新：5件） 青年等就農計画認定審査について

（2）新規就農者相談センターの設置

新規就農者相談員を1人配置し、新規就農を目指す者に対して支援を行った。

支援対象者 8件

（3）認定新規就農者

1戸の認定新規就農者が、新たな担い手候補として営農開始することができ、農業経営者の育成を進めることができた。

7 畜産振興事業

家畜公害防止奨励事業

都市化が進行する中で、近隣住民等に理解が得られる生活環境とするため、農業振興会畜産部に対し、畜産公害防止のため薬剤購入補助を行った。

補助金額 180,000円

8 自然休養村事業

(1) 戸倉運動場管理及び使用状況

利用件数 [利用日数] (利用団体数)	使 用 料			
	徴 収 分		減 免 分	
	件数	金 額 (円)	件数	金 額 (円)
2 1 2 [2 1 2] (2 4)	1 4 7	1 5 5 , 2 0 0	1 6 3	1 9 2 , 0 0 0

(2) 運動場整備委託

ア 草刈作業委託 5 回

イ シルバー人材センター等 2 2 8 , 5 4 6 円

9 用排水路整備事業

用排水路清掃委託

番 号	件 名	金 額 (円)
1	引田地区用排水路	8 3 , 6 0 0
2	雨間西光寺前用水路	1 1 5 , 5 0 0
3	下代継地区用排水路	2 9 4 , 8 0 0
4	初雁地区用排水路	2 1 1 , 2 0 0
5	牛沼地区用排水路	1 1 9 , 9 0 0
6	東郷前地区用排水路	2 9 7 , 0 0 0
7	鳥居場会館下用排水路	1 8 9 , 2 0 0
8	南郷用水切欠用排水路その 1	2 4 8 , 6 0 0
9	南郷用水切欠用排水路その 2	2 5 4 , 7 6 0
1 0	南秋留小校庭前用排水路	1 8 7 , 0 0 0
1 1	南郷取水門	1 7 4 , 4 6 0
1 2	南郷下法面	2 9 8 , 9 8 0

10 農業振興地域農用地証明書発行件数 4 件

11 農業団体育成事業

(1) 農業振興事業業務補助金

あきる野市農業振興会 2 , 0 0 0 , 0 0 0 円

(2) 主な事業内容

ア 家畜疫病予防事業

法定伝染病予防対策として、次の予防接種等を行い、伝染病の発生を未然に防いだ。

(ア) I B R 予防接種

2 酪農家の乳牛 7 0 頭に六種混合を接種した。

(イ) 鶏のマレック・ニューカッスル病予防接種

2 養鶏農家の 1 5 , 3 5 0 羽に接種した。

イ 畜産公害対策事業

畜産経営が安心して営めるように、畜産農家（5 戸）が希望する畜舎消毒用等の薬剤を一括購入し、ハエや蚊などの発生を軽減させ畜舎の環境衛生に努めた。

ウ 農業後継者育成対策事業

将来の農業の在り方・多様化した農業の諸問題について研究するため、農業後継者部が意見交換会等を実施した。

エ 農畜産物生産技術育成事業

優良牛品種改良研究

泌乳能力の優れている種牛の凍結精液を導入し、品種改良による乳量増大を目指すことで経営の安定を図った。

オ 先進地視察研修等事業

部会等	開催日	内容
農産物生産部	令和7年10月25日 11月19日	「東京都農業祭」視察 東京国際フォーラム 「産直市場グリーンファーム」視察 長野県
後継者部	令和8年 3月13日	農業・食品産業技術総合研究機構視察 埼玉県

カ 農業振興対策事業

市農業の発展と都市との調和を考え、市民に「あきる野農業」をPRするとともに、農業者自身も幅広い知識を習得した。また、農業者相互の連携を密にすることで、農業振興を図った。

(ア) 第29回あきる野市産業祭参加 令和7年11月9日

- a 農産物品評会 出品点数222点
- b たい肥の無料配布 先着150人
- c 仔牛の写真会 参加者100人
- d のらぼう菜苗の無料配布 各日先着100人
- e おやき・さつまスティックの販売

(イ) 立毛審査会の実施

令和7年 5月22日 対象作物「じゃがいも」 参加者5人

(ウ) 農業用資材の調査研究

環境に優しい農業資材（生分解性マルチフィルム）の活用（431本）

(オ) 農産物盗難防止活動 令和7年6月2日から9月30日まで

盗難防止看板の設置及びパトロール

(カ) 農業振興会だよりの発行 年2回発行（10月、1月）

12 田園景観保全事業

引田地区及び小庄地区の水田にレンゲソウの種子を蒔き、景観整備を行った。

13 中間管理事業による農地の利用集積事業

利用権の設定

- (1) 件数 94件（143筆） (3) 契約期間 3年～15年
- (2) 面積 107,026㎡

14 新規就農者提案型農業経営支援事業

市内で新たに農業経営を始める農業者に対し、農業経営を行うために必要な施設、機械等の購入に要する経費の一部について補助を行った。

- (1) 補助対象者 新規就農者 1戸
- (2) 補助事業の内容 軽自動車（貨物）

(3) 補助金額 500,000円

15 新規就農者育成総合対策事業（旧農業次世代人材投資事業）

農業従事者の減少及び高齢化に対応するため、経営の不安定な就農初期段階の青年就農者に対して、あきる野市新規就農者育成総合対策費補助金を交付した。

(1) 交付対象者 新規就農者 3戸

(2) 交付金額 4,200,000円

16 魚道維持管理事業

「魚が常に溯上、降下できる河川」を実現するために、秋川漁業協同組合等の関係団体・機関が現状における管理上の問題点や課題に係る情報を共有しつつ、魚道の維持管理を行った。

番 号	件 名	金 額（円）
1	魚道維持管理委託 下代継堰内	294,800
2	魚道維持管理委託 引田堰内	292,600
3	魚道維持管理委託 小庄堰内	298,100
4	魚道維持管理委託 南郷堰内	286,000

17 内水面漁業振興対策事業

五日市小庄にある生簀の非常用発電機は、開設当初から26年が経過し、今までメンテナンスをしながら使用していたが、燃料噴射ポンプ機器等が劣化しオイルや燃料漏れ等が発生し故障してしまった。このため飼育期間中に時々起こる停電により飼育魚が死んでしまった。非常用発電機を更新することで、停電時でも畜養池を使用することができ、安定した管理が可能となることから改修を行った。

(1) 補助対象者 秋川漁業協同組合

(2) 補助事業内容 生簀非常用発電機の更新工事

(3) 補助金額 11,571,000円

18 農道補修工事

番 号	件 名	金 額（円）
1	上ノ台1号線横断側溝補修工事	286,000
2	上ノ台3号線路面排水補修工事	292,600
3	上ノ台3号線雨水升清掃工	237,600
4	上ノ台3号線雨水排水管敷設工事	261,800
5	上ノ台3号線舗装補修工事	246,400
6	上ノ台5号線路肩補修工事	174,680
7	上ノ台5号線隅切舗装工事	149,380
8	草花地区道路補修工事	74,800

19 都市農業経営力強化事業

「東京の農業」を担うことが期待される新規就農者に対し、就農に必要な施設や農業用機械等の導入を支援することで、早期に安定した経営の開始ができるようにした。

また、意欲のある認定農業者に対して都市の有利性を生かした農業経営力を強化するため、施設や農機具等の導入を支援し、地域農畜産物の生産性、品質の向上、高付加価値化を実現した。さら

に、市民等に新鮮で安全な農畜産物を１年間通じて供給することで、地産地消型農業を推進した。

(１) 補助対象者 市内農家５戸 (新規就農者３戸、認定農業者２戸)

(２) 補助事業内容 パイプハウス２棟、トラクター３台、アタッチメント(サブソイラー)１台、
(フレールモア)２台、(トレンチャー)１台、(グラントソー)１台、ハンマーナイフモア１台、乗用半自動野菜移植機１台、ラジコン動噴１台、カーポート１棟、クローラスプレーヤ(動力噴霧器)１台、栗いがむき機１台、プレハブ保冷库１台、クールミスティシステム工事、出荷調整施設１棟、低温貯蔵庫１台

(３) 補助金交付額 ４４，７０７，０００円

20 下代継用水路整備基本設計

下代継堰の改修計画に伴い、老朽化した下代継用水路について、再整備に向けた基本設計を実施した。設計費については、東京都の補助事業(小規模土地改良事業)を活用した。

設計委託料 ５，４６７，０００円

21 都市農地保全支援事業

「東京の農業」を担うことが期待される新規就農者や認定農業者に限らず、あきる野市全体の農業者の所得向上と経営の安定化を実現するため、簡易直売所の設置等の施設整備を推進した。

１年を通じて、市民に新鮮で安全・安心な農畜産物の安定的な供給を行うとともに、地産地消に努めた。

(１) 補助対象者 市内農家２戸 (新規就農者１戸、認定農業者１戸)

(２) 補助事業内容 簡易直売所(自販機)２台

(３) 補助金交付額 ３，０３６，０００円

22 農業振興計画策定事業

平成２８年に策定した「あきる野市農業振興計画」を見直し、市の特性を生かした農業の方向性を明確にした計画を策定した。

計画策定業務委託 委託先 (株)日野 ３，４６５，０００円

23 農業振興地域整備計画策定事業

農業振興地域整備計画の見直しに伴い、東京都農業振興地域整備促進協議会に向けた基礎調査及び除外対象地の資料作成を行った。事業については、東京都の補助事業(農業振興地域活用計画支援事業費補助金)を活用した。

計画改定業務委託 委託先 (株)パスコ ４，８２９，０００円

24 農業者燃料等価格高騰対策支援事業

原油価格・物価高騰の影響を受けている市内の農業者・畜産業者に、肥料・飼料・燃料(電気・水道・ガソリン代など)に係る費用の負担軽減を目的として支援金を支給し、経営の安定化を図った。

(１) 支援金支給者 市内の農家及び畜産農家６４戸

- (2) 支援事業内容 支援対象経費（令和6年中経費）に支援率を乗じて得た金額の合計額を支援金として支給
- 支援対象経費：肥料費の40% 支援率：30%
- 支援対象経費：飼料費 支援率：40%
- 支援対象経費：燃料費 支援率：20%
- (支援上限額 農家200,000円、畜産農家500,000円)
- (3) 支援金額 8,979,000円

農林課 林務係

1 市有林整備事業

市が直接管理している森林の保育・管理等を計画的に実施した。

(1) 面積 0.50ha

(2) 事業費 140,800円

施 業 場 所	面積 (ha)	内 容
あきる野市養沢・戸倉地内	0.50	境界刈払工

2 林道事業

林業生産基盤強化のため、林道の開設、災害復旧を進めるとともに、市が管理する全15路線でおおむね1か月に一度は安全点検を行い、必要に応じて路側の草刈りや側溝の清掃等の維持管理を実施した。

工 事 件 名	工 事 内 容	工 事 費 (円)
林道大ナベリ沢線開設工事	工事施工延長 L = 66.0 m 幅員 W = 3.0 m 路面工 A = 170.3 m ² L型側溝工 L = 44.9 m ガードレール設置工 L = 25.8 m 簡易吹付法枠工 A = 365.1 m ² ほか	51,179,700
林道伝名沢線災害復旧工事	工事施工延長 L = 56.9 m 幅員 W = 4.0 m 路面工 A = 302.7 m ² 重力式擁壁工 L = 15.2 m ガードレール設置工 L = 45.4 m L型側溝工 L = 55.8 m 横断側溝工 L = 7.7 mほか	25,031,600
林道宝沢線災害復旧工事	工事施工延長 L = 121.8 m 幅員 W = 4.0 m コンクリートブロック擁壁工 A = 371.9 m ² 法面工 (植生基材吹付) A = 192.0 m ² ガードレール設置工 L = 63.1 m 防護柵基礎工 L = 33.4 m ふとんかご工 L = 2.0 m × 1段ほか	57,062,500
林道盆堀線災害復旧工事	工事施工延長 L = 138.1 m 幅員 W = 4.0 m 路盤工 A = 697.0 m ² 舗装止コンクリート工 L = 29.9 m 法面工 (モルタル吹付) A = 307.2 m ² コンクリートブロック擁壁工 A = 321.4 m ² L型側溝工 L = 133.8 mほか	63,537,100
林道維持補修工事 (林道大沢線外5路線)	土砂撤去工等	5,990,600

3 森林再生事業

木材価格の低迷等によって林業の採算性が低下し、手入れが行われず、荒廃が進んでいるスギ・

ヒノキの人工林について、3割間伐を実施した（現地確認実施）。

- (1) 協定書締結件数 14件
- (2) 実施面積 30.75ha
- (3) 事業費 30,873,868円（東京都負担）

4 枝打ち事業

過去に森林再生事業（間伐）を実施した森林について、枝下から一律4.0mの枝打ちを実施した。

- (1) 承諾者数 9人
- (2) 実施面積 7.13ha
- (3) 事業費 14,963,861円（東京都負担）

5 森林計画関係

- (1) 森林整備推進協議会 2回
- (2) 森林経営計画認定及び変更認定 6件
- (3) 森林経営計画認定同意及び変更認定同意（属人計画） 1件
- (4) 森林経営計画認定区域外伐採届（森林法第10条の8）処理 29件
- (5) 森林経営計画認定区域伐採届（森林法第15条）処理 4件
- (6) 保安林内間伐届（森林法第34条）受理通知処理 7件
- (7) 森林の土地の所有者届出書受理及び通知 12件

6 採石事業関係

- (1) 採石生産量報告書受理件数 24件（2社）
- (2) 採石場パトロール 令和7年11月17日実施（2か所）

7 治山事業

- (1) 治山工事協議（現地確認） 3か所
- (2) 治山工事に伴う測量設計・調査等（東京都施工） 0件
- (3) 治山工事（東京都施工） 1か所（小中野地内）

8 他自治体等との連携事業

- (1) みなと区民の森・みなと森と水ネットワーク会議
 - ア みなと区民の森調整連絡会 0回
 - イ みなと区民の森環境学習（間伐体験・生き物観察） 57回
 - ウ みなと森と水ネットワーク会議 4回
- (2) 新宿の森 あきる野
 - 「新宿の森 あきる野」自然体験ツアー 令和7年10月25日開催
- (3) サントリー天然水の森奥多摩
 - ア 設置物（作業歩道・シカ柵）の現況確認
 - イ 自然共生サイト認証

9 森林環境保全事業

森林環境譲与税を活用し、森林経営管理制度に基づき、所有者不明や境界未確定により荒廃した森林を整備するほか、搬出困難箇所の森林整備、森林・林業の普及啓発、多摩産材の利用促進等に係る事業を実施した。

(1) 森林調査員の雇用

市内の森林や森林整備事業の精通者を雇用し、職員や事業者に対する助言や森林経営管理制度の運用に向けた現地調査等を実施した。

ア 人数 1人 イ 出勤日数 120日

(2) 多摩産材の利用促進等

ア PRパンフレットの作成

事業者と連携してPRパンフレットを作成した。

(ア) 部 数 8 0 0 部

イ 普及啓発事業の実施

多摩産材の認知度や林業に対する関心を向上させる試みとして実施した。

(ア) 多摩産材出前授業

a 開催日 令和7年12月12日

b 場所 西秋留保育園

c 参加者数 40人

(イ) 林業現場見学会

a 開催日 令和7年9月11日

b 場 所 フレア五日市～新宿の森～秋川渓谷瀬音の湯

c 参加者数 2 人

(3) 森林クラウドシステムの活用

近隣市町村とともに東京都森林GISクラウドシステムを利用し、森林整備事業や林地台帳の運用に活用した。

ア 利用自治体数 6 市町村 イ 閲覧・写しの交付件数 0 件

(4) 東京都森林経営管理制度協議会の運営

森林経営管理制度に基づく森林整備及び森林環境譲与税の活用による自治体連携の推進を図るため、東京都及び近隣市町村により東京都森林経営管理制度協議会を運営した。

ア 構成自治体数 6 市町村

イ 事業内容 意向調査（13件、6.35ha）、会議の開催、事務局運営等

(5) 森林境界明確化事業

森林の適切な整備を広げていくため、森林境界が不明瞭な箇所の境界明確化事業を実施した。

ア 場 所 あきる野市三内地内 ウ 対象面積 6.66ha

イ 対象地権者 11人

(6) 搬出困難地における森林整備事業

山地災害の予防や花粉発生源対策の推進を図るため、伐採木の搬出が困難で未整備となっている人家や公共施設等に隣接する伐採・整備を実施した。

ア 場 所 あきる野市網代・横沢・入野・養沢地内 イ 伐採・整備面積 0.44ha

(7) 「多摩の森」活性化プロジェクト推進協議会の運営

多摩地域の森林において、参加自治体が連携して持続可能な森林の循環の確立に向けた広域的

な取組を推進することにより、森林の有する多面的機能の維持増進を図った。

ア 協定自治体 14自治体（7区7市町村）

イ 事業内容

（ア）森林整備事業 20.85ha（日の出町）

（イ）カーボンオフセット事業 625.00t-CO₂（日の出町）

（ウ）現場体験事業 8回（町田市・奥多摩町・檜原村）

（エ）木材活用事業

（オ）機運醸成事業

10 林業振興事業

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、原油価格・物価高騰により影響を受けた林業者に対し、燃料等に係る費用の負担軽減を目的とした支援金を給付した。

（1）給付件数 6件

（2）給付額 1,056,000円